

令和4年度 第6回 甲状腺簡易測定研修(長崎大学) 時間表

開催日：令和4年8月20日（土）
場 所：長崎医療センター

時間				内容		講師
9:00	—	9:05	0:05	—	開講式	
9:05 — 9:55			0:50	講義	我が国の原子力災害対応	宇佐 俊郎
9:55 — 10:45			0:50	講義	甲状腺簡易測定の概要	
10:45 — 11:15			0:30	講義	話題提供	
11:15 — 11:25			0:10	休憩		
11:25 — 12:25			1:00	実習	測定実習	宇佐 俊郎 奥野 浩二 福田 未夢
12:25 — 12:45			0:20	—	総合討論・質疑応答	宇佐 俊郎
12:45 — 12:50			0:05	—	閉講式	

新型コロナウイルス感染症拡大防止対応

1 感染者、または感染疑い者が出たときの対応

1.1 研修の中止・中断基準

<研修開始前>

- 開催地域での感染再拡大
感染状況の悪化による再度の緊急事態宣言発令等、政府・自治体による活動自粛の要請がなされる事態に至る場合。

<研修開催中>

- 研修に参加している受講者・講師・スタッフ等 参加者が、体調不良等¹⁾を自覚した場合。
- 研修に参加している受講者・講師・スタッフ等 参加者が、濃厚接触者と判明した場合。

1.2 研修生・オブザーバーに参加辞退・中断していただく条件

以下の場合本学研修担当者に報告することを義務づける。

<研修開始前>

- 研修参加 2 週間前から前日までに、受講予定者の本人が体調不良¹⁾を自覚した場合。
- 研修参加 2 週間前から前日までに、本人が濃厚接触者となった場合。
- 地域の感染状況の変化のため、所属機関が参加不許可とした場合。
- 受講者・講師・スタッフの家族等の同居人が発熱あるいはクラスターに含まれると判明した場合。

<研修開催中>

- 体調不良¹⁾を自覚した場合。
- 濃厚接触者と判明した場合。
- 受講者・講師・スタッフ等 参加者の家族等の同居人が発熱あるいはクラスターに含まれると判明した場合。(本人の受講・参加を中止するが、家族等の同居人の感染が確認されない限り研修は中止しない。)

1.3 受講後に受講者・講師・スタッフ等 参加者が感染疑いとされた・感染確認された場合

受講者が、受講後 2 週間後までに保健所等によって新型コロナウイルス感染確認された際には、本学研修担当者に報告することを義務づける。その際に、本学は受講者・講師・スタッフ等 参加者に濃厚接触の可能性がある旨を連絡する。

1.4 その他(受講者が不利益を被らないための対応)

- 感染症対策に伴う研修の中止、中断、参加辞退に伴う交通費、宿泊費のキャンセル手数料を支払う。
- 感染症対策に伴う研修の中断、参加辞退のため修了証が発行されない場合は「受講した講義等の受講証」や「体調不良(自覚)による、研修の安全確保のための受講中断であること」を示す文書を発行する。

2 感染拡大防止の対応

2.1 手指衛生

- 入室時毎の手指アルコール消毒を徹底する。
- 洗面所使用時にはハンドソープでの手洗いを励行する。
- 実習および机上演習前後は必ず全員が手洗いをする。

2.2 換気

研修にあたっては、機械換気設備を常時稼働させるとともに、研修前後及び休憩中などに定期的に会場の換気を行う。

2.3 ユニバーサlmasking（常時マスク着用）による飛沫拡散防止

受講者・講師・スタッフ等 参加者全員の常時マスク着用を義務付ける。

2.4 Social (physical) distancing

- 今年度の募集人数を例年の半分以下とする。
- 講義室では長机 1 台につき受講者 1 名とし、受講者間の間隔を 1m 以上確保する。
- 実習の同時並行化により実習時の密集を避ける。
- 実習はひとりひとりで行う内容にし、濃厚接触を避ける。
- 机上演習時の話し合いは必須であるが、飛沫感染を防止する対策を講じる。

2.5 受講者・職員の疑い例の早期発見

毎朝入室時に受講者・講師・スタッフ等 参加者全員の体調を確認・記録する

- ① 非接触式体温計による検温
 - ② 症状チェックリスト：発熱（37.5℃以上あるいは本人の平熱より明らかに高い場合）、強い倦怠感、味覚・嗅覚異常、咳嗽、息切れ、咽頭痛、筋肉痛、悪寒
- ※ 症状等の記録は保管し期限を決めて破棄する。また、必要に応じて記録を保健所等に提供する。

2.6 使用物品表面のアルコール消毒

- 講義室の机は使用者の変更時と一日の終了後にアルコール消毒をする。
- 講義室のドアノブ周囲は講義時間毎にアルコール消毒をする。
- トイレ便座の清拭消毒剤を設置し、使用を励行する。
- 受講者・講師 等 参加者が他の机を触れずに次席まで行けるように通路を確保し、自分の机、いす以外には触れないことを徹底する。

1) 以下の項目に一つでも当てはまる場合。（研修開催中は本学で毎朝確認する。）

37.5℃以上（あるいは本人の平熱より明らかに高い場合）、強い倦怠感、味覚・嗅覚異常、咳嗽、息切れ、咽頭痛、筋肉痛、悪寒

2) 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）COVID-19 Contact-Confirming Application への登録をお願いいたします。

COCOA https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

被ばく医療研修管理システム 入力操作の手引き（簡易版）

（受講者向け）

第0.1版改

0.目次

- 1.ログインする
- 2.各種情報を閲覧する
- 3.研修に申し込みをする
- 4.研修申し込み履歴を閲覧する
- 5.標準テキストのダウンロードをする
- 6.サイトポリシーを参照する

※より詳しい「操作マニュアル（受講者編）」が必要な方は
retms-support@qst.go.jp までご連絡ください。

メール添付でお送りしますが、ファイルのサイズが約5メガバイトですので、
メール添付では受け取れない方はQSTストレージサービスでお送りします。

1. ログインする

研修受講者用の下記URLからアクセスし、ログインボタンを押下します。

<https://retms.nirs.qst.go.jp/>

新規個人情報登録で登録したアカウント名とパスワードを入力し、ログインします。

2. 各種情報を閲覧する

被ばく医療研修ポータルサイトで各種情報を閲覧することができます。

被ばく医療研修ポータルサイト

お知らせ

システムメンテナンスのお知らせ
被ばく医療研修管理システム（RETMS）は、ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何とぞご理解とご協力をお願いいたします。

受講者は、被ばく医療研修ポータルサイト画面により各種お知らせ、研修コース概要を知ることができます。

研修コース紹介

基礎

原子力災害医療基礎研修

研修概要・目的	対象者	頻度・定員	実施機関
原子力防災に係る基礎知識、測定器の取扱いの知識の習得研修	原子力防災に関わる関係機関の職員	2回／年 50名／回	関係道府県等 （委託された機関を含む）

専門

原子力災害医療中核人材研修

研修概要・目的	対象者	頻度・定員	実施機関
被ばく・汚染のある傷病者を医療機関で対応するために必要な知識と技能の習得研修	被ばく医療に携わる医療従事者、医療関係者	5回／年 20名／回	高度被ばく医療支援センター

原子力災害医療派遣チーム研修

研修開催予定一覧では、各種研修の開催予定を知ることができます。

研修開催予定一覧

基礎

研修名	研修実施期間／申し込み期間	開催地	実施機関
test令和2年度第1回原子力災害医療基礎研修（量研機構千葉開催）	2020/12/01～2020/12/05 申し込み終了	千葉県千葉市	量子科学技術研究開発機構

専門

研修名

テスト 令和2年度 原子力災害医療

受講者は、選択した研修について、受講申し込み登録をすることができます。

各種情報検索

開催済み研修

各種情報
以下のURLから、原子力災害医療研修のテキストをファイル形式を選んでダウンロードできます。
本資料は、原子力災害時の医療、被ばく医療の人材育成、統一化された研修のために、原子力規制庁放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業費）放射線安全規制研究推進事業（包括的被ばく医療の体制構築に関する調査研究）において作成されました。
<https://www.qst.go.jp/soshiki/101/37231.html>

サイトポリシー

3.研修に申し込みをする

研修開催予定一覧で申込みする研修を選択すると、研修別詳細へ遷移します。
研修内容を確認し、申し込みボタンを押下します。

研修別詳細

年度	2020
研修名	テスト用研修
概要・目的	高度被ばく医療支援センターでのバイオアッセイによる線量評価を実践できる人材の育成
対象者	高度被ばく医療支援センターの職員、原子力事業所の職員等
研修人員	
研修日程	2021/01/01 ～ 2021/01/10
実施機関	量子科学技術研究開発機構
研修カリキュラム	
+	
インセンティブ	
+	
募集要項	
申し込み期間	2020/11/25 ～ 2020/12/06

申し込み 戻る

申込内容を入力し、内容確認のうえ保存ボタンを押下します。

受講申し込み

研修名 テスト用研修

氏名 研修生一 花子

フリガナ ケンシュウセイイチ ハナコ

性別 女性

年齢 40歳

所属機関名（受講者）* 量子科学技術研究開発機構

所属部署名（受講者）

メールアドレス sakuraba.koji@qst.go.jp

受講者本人連絡先の携帯電話番号

所属機関名（所属長）* 量子科学技術研究開発機構

所属部署名（所属長）

所属長役職

所属長氏名 姓 名

現在の職務内容および受講理由

確認 閉じる

4.研修申し込み履歴を閲覧する

研修申し込み履歴は、マイページより確認することができます。

 被ばく医療研修ポータルサイト

研修生 - 花子 様

マイページ

個人設定パスワード変更ログアウト

申し込み履歴

研修名	研修日程	実施機関	状況	申し込み詳細	修了証書（写し）
テスト用研修	2021/01/01～ 2021/01/10	量子科学技術研究開発機構	受講修了		
テスト用令和2年度原子力災害医療中核人材研修	2020/11/23～ 2020/11/30	量子科学技術研究開発機構	申し込み中		
テスト用令和2年度原子力災害医療中核人材研修	2020/11/23～ 2020/11/30	量子科学技術研究開発機構	キャンセル		

5.標準テキストをダウンロードする

研修受講者用の下記 URL からポータルサイトにアクセスし、「各種原子力災害医療研修テキストのダウンロード」からダウンロードページにアクセスします。

<https://retms.nirs.qst.go.jp/>

retms 被ばく医療研修ポータルサイト

ログイン

お知らせ

システムメンテナンスのお知らせ

被ばく医療研修管理システム（RETMS）は、メンテナンス作業のため各種入力を休止させていただいております。ただし、閲覧のみはご利用可能です。ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何とぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

研修コース紹介

+ 基礎

+ 専門

+ 高度専門

研修開催予定一覧

各種情報検索

開催済み研修

各種原子力災害医療研修テキスト

原子力災害医療研修の標準テキスト、初動対応者のためのCBRNEテロ災害対処のテキスト、原子力災害や放射線テロ災害時の初動対応や初期診療に関するマニュアル、資料がダウンロードできます。本資料は、原子力災害時の医療、被ばく医療の人材育成、統一化された研修のために、原子力規制庁放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業費）放射線安全規制研究推進事業（包括的被ばく医療の体制構築に関する調査研究）において作成されました。

以下のURLから、原子力災害医療研修のテキストをファイル形式を選んでダウンロードができます。

<https://www.qst.go.jp/soshiki/101/37231.html>

サイトポリシー

【各種原子力災害医療研修テキスト】をクリックします

原子力災害医療研修テキスト・CBRNE災害対処テキストのダウンロード

掲載日：2021年4月2日更新

 [印刷用ページを表示](#)

各種研修テキスト・マニュアル・資料

原子力災害医療研修の標準テキスト、初動対応者のためのCBRNEテロ災害対処のテキスト、原子力災害や放射線テロ災害時の初動対応や初期診療に関するマニュアル、資料がダウンロードできます。

テキスト、マニュアル、資料のダウンロードをご希望の方は、下記からご申請ください。

[【資料ダウンロード申請ページ】](#)

申請後、ダウンロード用ページのアドレスとIDとパスワードを個別にお伝えします。

本資料は、原子力災害時の医療、被ばく医療の人材育成、統一化された研修のために、原子力規制庁 放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業費）放射線安全規制研究推進事業（包括的被ばく医療の体制構築に関する調査研究）において作成されました。

下記の項目に入力し「確認する」ボタンをクリックします

テキストダウンロードの前に属性をお教えてください

テキストダウンロードの前に属性をお教えてください

※アンケートフォームは、ブラウザのクッキー(Cookie)を利用しています。(Cookie対応のブラウザでないとは動作しません) お問い合わせフォームを開いてから60分を超えた場合、内容の送信ができなくなりますので、もし送信までに時間がかかる際には、事前にメモ帳やワードなどで文章を作成してから開合せフォームに貼り付けてください。

Q1：勤務地を選択ください（必須）

東京都

Q2：勤務先属性を選択ください（必須）

都道府県

Q3：その他（自由記載）を選択の場合以下に記載ください

Q4：使用目的を選択ください（必須）

原子力災害医療の研修での講義

Q5：その他（自由記載）を選択の場合以下に記載ください

Q6：メールアドレスを記入ください（必須）

入力したメールアドレスにダウンロードサイト、ID/PWをお送りします

(再入力)

確認する

<https://www.qst.go.jp/ques/questionnaire.php?openid=18&check>

確認画面が出ますので修正箇所がない場合は「送信する」をクリックします

Q5：その他（自由記載）を選択の場合以下に記載ください

Q6：メールアドレスを記入ください（必須）

入力したメールアドレスにダウンロードサイト、ID/PWをお送りします

hashiguchi.naoko@qst.go.jp

修正する送信する

送信完了とともに、メールが届きますのでテキストダウンロードページの URL をクリックします

サンプル
です



webmaster@qst.go.jp | hashiguchinaoko@qst.go.jp
ご送信ありがとうございました

ご協力いただきありがとうございました。
以下にてテキストをダウンロードください。

テキストダウンロードページ <https://www.qst.go.jp/site/txtdownload/>

ID : qms-txtdownload

PW : p#Mr6zQk

ご回答頂きました内容は以下の通りです。

ID-18 : テキストダウンロードの前に属性をお教えてください

Q : 勤務地を選択ください
A : 北海道

Q : 勤務先属性を選択ください
A : 原子力災害拠点病院

メールの ID(ユーザー名)と PW (パスワード) を入力しログインします

ログイン

<https://www.qst.go.jp>

ユーザー名

パスワード

ログイン

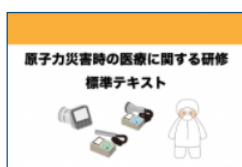
キャンセル

テキストダウンロード用ホームに入れます

テキスト・マニュアル・資料 ダウンロード

テキストはpdfの資料とパワーポイントがダウンロードできます。パワーポイントは読み取り専用です。

本資料は、原子力規制庁放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業費）放射線安全規制研究推進事業（包括的被ばく医療の体制構築に関する調査研究）において作成されました。



[原子力災害拠点病院等 研修資料](#)

[原子力災害医療基礎研修](#)

[原子力災害医療専門研修](#)

6. サイトポリシーを参照する

研修受講者用の下記 URL からアクセスし、「サイトポリシー」を参照します。

<https://retms.nirs.qst.go.jp/>

 被ばく医療研修ポータルサイト

ログイン

お知らせ

システムメンテナンスのお知らせ

被ばく医療研修管理システム（RETMS）は、メンテナンス作業のため各種入力を休止させていただいております。ただし、閲覧のみはご利用可能です。ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何とぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

研修コース紹介

+ 基礎

+ 専門

+ 高度専門

研修開催予定一覧

各種情報検索

開催済み研修

各種原子力災害医療研修テキストのダウンロード

以下のURLから、原子力災害医療研修のテキストをファイル形式を選んでダウンロードができます。

本資料は、原子力災害時の医療、被ばく医療の人材育成、統一化された研修のために、原子力規制庁放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業費）放射線安全規制研究推進事業（包括的被ばく医療の体制構築に関する調査研究）において作成されました。

<https://www.qst.go.jp/soshiki/101/37231.html>

サイトポリシー